

【中学校・1学年・総合的な学習の時間・ 未来の地球のために、私たちにできる取組を行おう】①

育成を目指す資質・能力

知識及び技能・・・環境問題について考え、解決に向けて環境負荷の少ない行動を選択する能力。
思考力、判断力、表現力・・・伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現する能力。
学びに向かう力、人間性・・・互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画し夜とする態度。

ICT活用のポイント

・伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現するためにICT端末で学習支援ソフトを活用する。

事例の概要

【つかむ】探究課題との出会い

環境問題が身近な問題であることを実感する。

【追究①】個人での課題設定と実践

自分たちにできることについて調べよう。

夏休みチャレンジ

【追究②】新たな課題を見だし、さらなる追究

もっと成果の出る取組を考えよう。

クラスの活動計画

【まとめる】単元の振り返り

自分の変化や成長を見つめ直す。

【追究①】個人での課題設定と実践

- 環境問題とその原因について、ウェブブラウザを利用して検索し、データの蓄積・共有をする。
- 調べたことをもとに、自分にもできる取組を考え、学習支援ソフトの付箋機能に書き出し、クラス全員の考えをICT端末で確認する。
- 他者の意見を取り入れながら、環境負荷を軽減する取組「夏休みチャレンジ」の計画をプレゼンテーションソフトで作成し、拡大提示装置に映して発表する。

【追究②】新たな課題を見だし、さらなる追究

- 学習支援ソフトで「夏休みチャレンジ」の取組状況をグループごとに交流し合い、振り返りを行う。
- クラス全員で協力して取り組む活動を、学習支援ソフトの思考ツール(座標軸)を活用して分類・整理する。
- 学習支援ソフトのスケジュール機能を用いて、クラスの取組の計画を立てる。

【中学校・1学年・総合的な学習の時間・ 未来の地球のために、私たちにできる取組を行おう】 ②



【事例におけるICT活用の場面①】

【事例におけるICT活用の場面①】

○調べたことをもとに、自分にもできる取組を考え、学習支援ソフトの付箋機能に書き出し、クラス全員の考えをICT端末で確認する。



- ・発表形式をとるよりも、短時間で多くの情報を交流することができる。
- ・付箋の色分けをすれることで、よかった点と反省点を視覚的に区別できる。さらに、生徒の考えで他の視点で色分けして分類することもできる。

【事例におけるICT活用の場面②】

○学習支援ソフトのスケジュール機能を用いて、クラスの取組の計画を立てる。



- ・授業の時間に行うこと以外に、日常的に活動することを視覚的に確認することができた。
- ・活動での気づきなど、付箋機能を活用して記録を蓄積することができ、振り返りに役立てられた。



【事例におけるICT活用の場面②】

【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト、ファイル共有等